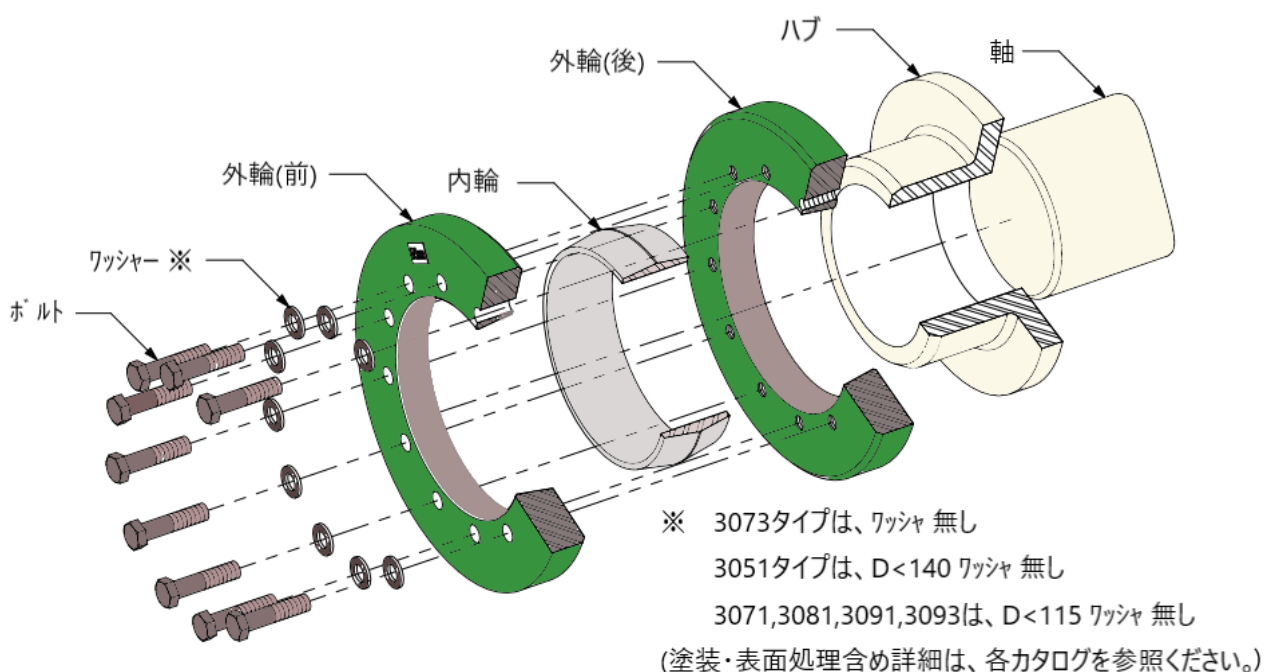
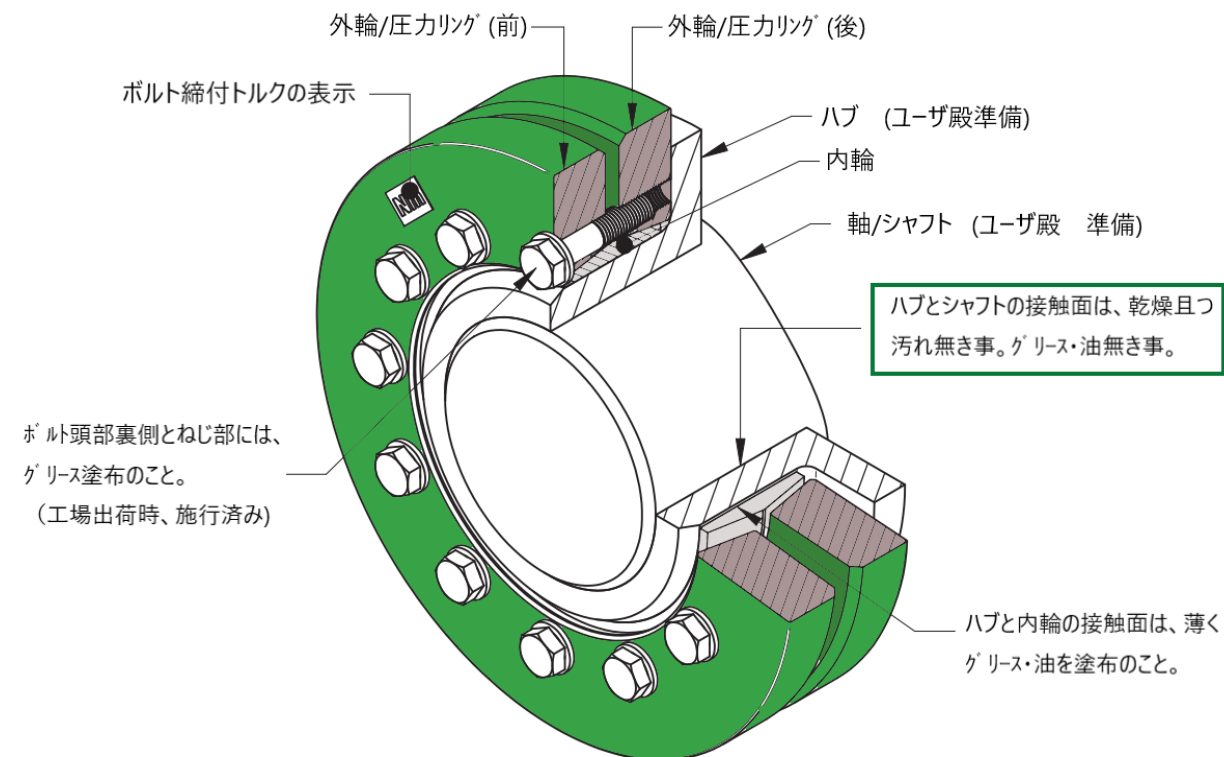


3パーツ シュリンクディスク取付取外し要領

1 基本構成

3パーツシュリンクディスクは、下図で構成されています。
締付ボルトを締めていきますと内輪を圧縮し面圧が生じます。この面圧はハブと軸とを締め付けることになり、摩擦によって軸とハブは一体となり、動力が伝達されます。



分解図

2 発送状態・取付前の確認

- 2.1 3 パーツシュリンクディスクは、納入後そのまま取り付けられるように、ハブを締め付ける面(内輪の穴の表面)に防錆油を薄く塗布した状態で発送いたします。



ハブの孔およびそれに接する軸は油分を十分取除いてください。しかし、溶剤は使用しないでください。溶剤により腐食する恐れがあります。締め付けボルトは軸をハブに入れるまで強く締めてはいけません。

3 取付け

3.1 用意する道具

- ・トルクレンチ、その他、必要と思われる道具及び安全防具。
- ・締め付けボルトのサイズに対する締め付けトルクは、【表3.1】(強度10.9の場合)の他各型式の締め付値を参照ください。(強度8.8、12.9のボルトを使用するタイプもあります)

【表3.1】… 締め付けトルク(強度 10.9の場合)

ボルト (10.9の場合)		M4	M5	M6	M8	M10	M12	M16	M20	M24	M27	M30	M33
締め付け トルク	Nm	2.4	4.8	12	30	59	100	250	490	840	1250	1700	2150
	(kg·m)	0.2	0.4	1.2	3	5.9	10	25	49	84	125	170	215

3パーツシュリンクディスクの使用の際、軸或いはハブに発生する応力を下げたい場合、ボルト締付トルクを下げても運用可能です。使用ボルトの強度により、調整可能範囲があります。

また、**締付トルクを下げるにより、伝達可能トルクMTも下がります。**

強度 8.8 : 0.85~1.0倍MA	調整後のボルト締付トルクを M_{Agew} とすると調整後のMT'は、	伝達トルクは、	応力についても、
強度 10.9 : 0.70~1.0倍MA			
強度 12.9 : 0.60~1.0倍MA			

$$M_{T'} = \frac{M_{Agew}}{M_A} M_T$$

$$\rho_{N'} = \frac{M_{Agew}}{M_A} \rho_N$$

MAを下げて使用する場合、緩み止め(ルトロックワッシャ等)の処置をしてください。

なお、トルクレンチの作動は、何度も作動音を鳴らさないようにしてください。

(過加重の原因になります。)

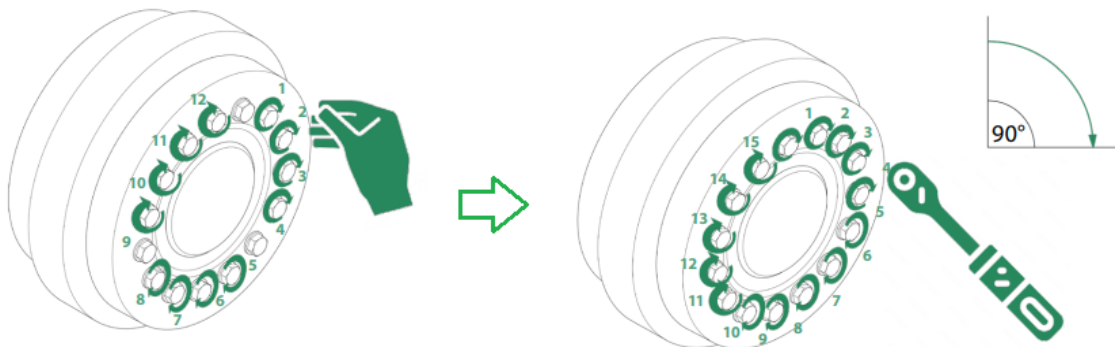
3.2 取付け手順

- (1)シュリンクディスク外輪の外周面に設けた吊りタップにアイボルトを取り付けます。
- (2)ハブ外表面には、薄く防錆油を塗布してください。
アイボルトにスリングを通して、クレーンにて吊り上げ、ハブに取り付けます。
- (3)締付けボルトに時計回り(あるいは反時計回り)に番号をつけます。
- (4)まずすべてのボルトを番号順に手締めを行います。
- (5)次にトルクレンチにより、ボルトを番号順に、最初は90° ずつ、規定トルクに近くなったならば30° ずつ、規定トルクに達するまで締め付けていきます。
- (6)最終的にすべてのボルトが規定トルクで締められていること
全周にわたって均一であることを確認してください。



注意

すべてのボルトが1回目で規定の締付けトルクで締められているのを確認できても、最初に締付けたボルトは、負担が低下するため、締付けトルクが低下している可能性があります。従い、その後も、番号順に規定の締付けトルクで締め、緩みのないことが確認できるまで締付けを繰り返してください。(凡そ 2~3周程度)



なお、トルクレンチの作動は、何度も作動音を鳴らさないようにしてください。

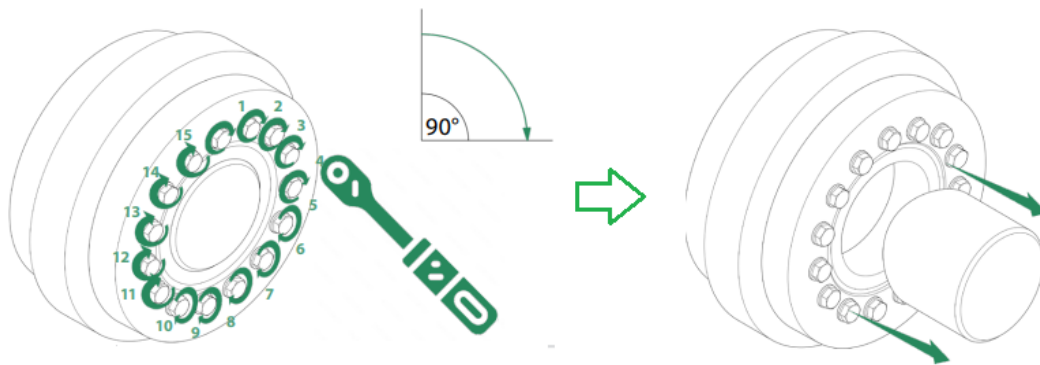
(過加重の原因になります。)

4 取外し



- 1)少数のボルトに負荷が集中しない様に、一様にゆるめてください。
ボルトの永久歪、さらに破断につながる危険性があります。
- 2)どのボルトもねじ穴をつぶさないでください。
- 3)ボルト軸方向に身体の一部を置かないようにしてください。
- 4)内輪が、固着している場合は、内輪に設置されている抜きタップを利用して、内輪を引き抜いてください。この時、内輪のフランジ面が傾いて抜けにくい様に、各抜きタップボルトを同程度に緩めて下さい。また、締め付け用ボルトは、外さずに内輪の飛び出し防止に配慮ください。

・適切なレンチで、番号順に最大90° 毎ゆるめていき、ボルトがすべて緩んだ状態になれば、 主軸をハブから抜いてください。



・分離出来た後、ハブからシュリンクディスクを抜いてください。

5 再使用

- ・今まで使用していた3パーツシュリンクディスクを取り外して再使用する場合は、まず分解洗浄してください。
- ・また、ボルトは新しいものに交換して下さい。(ボルトは弊社からのご購入をお願い致します。)
- ・再組立前に、内外輪の接触部(コニカル部)は少量の、また締め付けボルト及びボルトヘッドと接触する面にグリースMolykote G-Rapid 或いは同等品を塗布してください。
- ・締め付けボルトは、あらかじめ軽くねじ込んでテストしてみてください。

潤滑剤塗布箇所 (ライトグリーンの箇所)

